

2024年（令和6年）

7月号

No.225

広報

よしか

笑顔がいっぱい！ 新1年生！！

蔵木小学校



柿木小学校



六日市小学校



朝倉小学校



七日市小学校



吉賀町の地域と医療をつなぐ会設立記念シンポジウムが開催されました

5月12日（日）に、今年2月に設立された「吉賀町の地域と医療をつなぐ会」の設立記念シンポジウム「吉賀町の地域と医療をつなごう」が開催されました。シンポジウムには、住民の方々や、町内の医療機関・介護事業所に従事する専門職、町職員など101名が参加しました。



【安副院長による基調講話】

第一部では基調講演として、よしか病院安副院長による「よしか病院が目指す地域医療について」をテーマとした講演が行われました。

第二部では、パネルディスカッションとして「よしか病院とどうつながっていくか」をテーマに、よしか病院のほか町内の医療介護機関等の代表をパネリストに迎え、よしか病院と連携する方法や今後一緒に取り組んでみたいこと等について活発な議論が行われました。



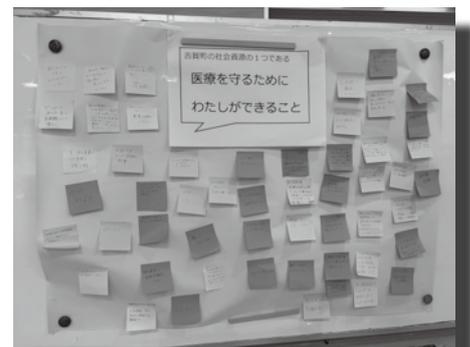
【パネルディスカッション】



【トークフォークダンス】

第三部では来場者全員により、参加者と医療介護従事者との対話形式での意見交換会（トークフォークダンス）が行われ、「地域医療を守るために自分自身にできること」や「吉賀町の地域と医療をつなぐ会でやってみたいこと・やってほしいこと」などをテーマに、和やかな雰囲気の中、交流を深めました。

吉賀町の地域と医療をつなぐ会会長の土田裕久さんは、「予想以上に多くの地域の方に参加していただき、本当に感謝しています。今後もこうした交流会を定期的で開催し、地域医療について学びを深めるとともに、地域住民と医療介護従事者との顔の見える関係性を作っていきたいと思います。また、会の取り組みを若い世代にも積極的に発信し、より多くの方々に参加していただけるよう考えていきたいです」と話していました。



【参加者の皆様から寄せられた意見】

なお、本シンポジウムの様子については、YouTubeで配信中ですので、是非ご覧ください。

※下記 URL または二次元バーコードより、YouTube にアクセスできます。

【第1部 基調講演「よしか病院が目指す地域医療について」】

<https://youtu.be/iihZWb2Qg8I>

【第2部 パネルディスカッション「よしか病院とどうつながっていくか」】

<https://youtu.be/CYBLnn6Hv-U>



まめネットをご存知ですか？

◆まめネットとは…

『まめネットカード』をお持ちの県民の皆さんの医療や介護の情報を県内の様々な機関で共有するネットワークです。医療や介護のサービスをスムーズに受けることができます。

◆このような方におすすめです

- ・複数の医療機関を受診されている方
- ・小さなお子様、ご高齢の方
- ・複数の薬の処方を受けている方
- ・持病、アレルギーをお持ちの方
- ・在宅で訪問系サービスを受けている方



◆問い合わせ先

NPO法人しまね医療情報ネットワーク協会 ☎0853-22-8058

「有機の学校 in 吉賀町」が開校しました

4月24日（水）福川自治会館で町内の農家や新規就農予定者など20名が参加して「有機の学校 in 吉賀町」の開校式を行いました。吉賀町では昨年「オーガニックビレッジ宣言」を行い、更なる就農者の拡大や技術の向上を目指すために1年を通して圃場での現地講習を行うことにしました。校長には国の「みどりの食料システム戦略」策定に携わった千葉康伸さん（NPO法人有機農業参入促進協議会代表理事）が、講師には東広島市で「安芸の山里農園 はなあふ」の代表の森昭暢さんに就任していただき、指導してもらうことにしました。

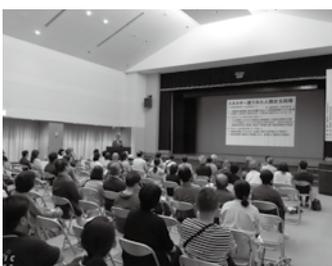
第一回の現地講習では、開校式の後さっそく圃場に出向き「圃場の土を知る」をテーマに実際に圃場に穴を掘って、土の硬さや、地層の状態、生えている雑草等から土壌特性について学びました。



その後、会場に戻り、「土作り戦略を練る」をテーマに土壌分析の結果や、圃場で把握した地層の状態などのデータを元に、土壌改良や作付けに適した野菜等について皆さんと考えました。今後は堆肥を撒いたり、緑肥を播種したりしながら土づくりを行い、秋ごろから作物の植え付けを行っていく予定としています。

有機農業講演会を開催しました

5月4日（土）ふれあい会館で「みどりの食料システム戦略をもっと早く大きくするために」と題して講演会を開催しました。



当日は講師に地震学者で元京都大学総長の尾池和夫さん、吉賀町在住防災士の樋口ふみさん、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介さんにご講演いただきました。今年1月には能登半島地震があり、直近では4月に豊後水道を震源とするマグニチュード6.6の地震が発生したことを受け、吉賀町もいつ地震の被害があるかわからなく、災害時の食料供給は早期に対策する必要があるということでした。しかも、昨今の肥料価格の高騰は当分続くと思われ、こうした情勢を考えると町内の有機堆肥等の資源を有効に活用し、環境に配慮した持続性の高い農業に取り組む必要があるというお話でした。当日は、80名近い方が参加され熱心に講演を聞いていました。

棚田オーナー春まつり

5月19日（日）大井谷の棚田において棚田オーナー春まつり（田植え）が開催されました。

この日は晴天に恵まれ絶好の田植え日和となりました。オーナーは島根県内をはじめ広島や京都から参加されたほか、吉賀高校の地域クラブの皆さんも参加されました。オーナーは泥の中に足を踏み入れ、その感触と苗の列を確かめながら作業を進め、大井谷での春の1日を楽しんでいました。



また、21日（火）には柿木小学校の5、6年生も田植えをおこないました。今年度は8組のオーナーが登録しており、今後は夏に草取り、秋には稲刈りをおこなう予定です。美味しい棚田米になるよう願っています。

「養老先生と虫とり」イベントが開催されました

このイベントは、「NPO法人日本に健全な森をつくり直す委員会」（委員長は養老孟司さん）の主催、吉賀町の共催により、自然の中で遊び慣れ親しむことで地球のことを考えてもらうことを目的として企画開催されるものです。



解剖学者であり「バカの壁」などの執筆者で知られる養老孟司さんが講師となり開催する予定でしたが同氏が体調不良のため、同委員会の副委員長の藻谷浩介氏を急遽講師に迎え、町内外の子どもから大人まで総勢110名が参加し開催されました。

5月としては暑いくらいの天候のなか、参加者は、傘を逆さまに広げて受け皿を作り、棒で木を叩いて落ちてきた虫を採取していました。参加者が採取した虫は、島根県中山間地研究センターの福井修二氏のもとに持ち寄って、同氏に見てもらい解説をうけていました。



“愛の図書” 寄贈運動趣意書

島根県更生保護女性連盟

私たち島根県更生保護女性連盟は、女性の立場から関係機関と提携して更生保護事業を推進すると共に、各地区の更生保護女性会が相互に連絡を図り、犯罪のない明るい社会の実現を願う団体です。

7月は、「社会を明るくする運動」強調月間・再発防止啓発月間として、島根県はもとより全国的に様々なイベントや広報活動、シンポジウム等が行われます。本連盟はこの運動の一環として、県民の皆様より愛情のこもったお気持ちを受け、これを図書の購入費として社会復帰施設、児童相談所、更生保護施設等々に贈る“愛の図書”寄贈運動を長年にわたり行っています。

皆様の温かい愛の心を、“愛の図書”に託して届けていただけますならば、寄贈施設の方々は、皆様の温情を感じ、“愛の図書”を‘心の灯火 story give your hope’として、希望に輝く明日を迎えることができるでしょう。どうぞ、この趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

「愛の図書」贈呈

島根県立わかたけ学園 様	島根あさひ社会復帰促進センター 様	松江刑務所 様
松江少年鑑別所 様	中央児童相談所 様	出雲児童相談所 様
浜田児童相談所 様	益田児童相談所 様	更生保護法人しらふじ 様
島根県女性相談センター 様	吉賀町小学校・中学校 様	吉賀町保育所 様

テニス特集



河口菜々美さんが優勝しました

5月11日、全国中学生テニス選手権島根県予選大会が開催されました。

女子シングルスでは第1シードの河口菜々美さん（1年）が松江市など東部の上級生に勝利し優勝しました。1年生での優勝は快挙です。また六日市中学校では2人目の島根県中学チャンピオンになりました。

男子では吉田涼さん（3年）が白熱した試合展開を繰り広げましたが、惜しくも中国大会出場とはなりませんでしたが、しかし、持てる力を存分に発揮しました。

河口菜々美さんは尾道市で7月14日から開催される中国大会に出場します。応援よろしくお願いいたします。



吉賀高校全制覇 北部九州インターハイへ

5月30日～6月1日、令和6年度島根県高校総体が松江総合運動公園で開催されました。



団体戦は昨年までのメンバー不足を解消し1年生2名を加え第1シードとして初の団体優勝に望みました。準決勝では事実上の決勝戦であった開星高校に総力で押し切り勝利し、決勝戦では昨年優勝校の松江南高校に勝利し、悲願の団体初優勝を飾りました。この吉賀高校の歴史的なことは新聞で大きく取り上げていただきました。

一方、個人戦シングルスでは第1シードの加藤那菜さん（3年）が堂々の3連覇を達成しました。準優勝は岩本理沙さん（3年）、3位に田口桜さん（3年）で上位独占しました。ダブルス個人戦では、第1シードの加藤那菜・田口桜ペアが2連覇を果たし全国インターハイ出場を決めました。そして総体テニス競技の女子総合優勝も2年連続で獲得しました。



全国高校総体は大分市で8月上旬に開催されます。応援よろしくお願いいたします。

河口依鈴さんが準優勝しました

6月1日～2日、全国小学生テニス選手権中国大会が鳥取市で開催されました。

女子では、第2シードの河口依鈴さん（六日市小5）が決勝戦で第1シードの6年生に惜敗しましたが準優勝し、この大会2年連続全国出場を決めました。

また、片上龍之介さん（六日市小5）は32名中16位になりました。来年は全国出場を狙います。

河口さんが出場する全小全国大会は東京で8月7日から開催されます。

応援よろしくお願いいたします。





サッカー特集



J F A バーモンドカップ第34回全日本U12フットサル選手権

鹿足郡内を中心に活動するクラブチーム、鹿足サッカースクールは5月11日（土）益田市民体育館でJ F Aバーモントカップ第34回全日本U12フットサル選手権島根県益田支部予選が開催しました。

リーグ初戦はP S V益田と対戦し、拮抗したゲーム内容でしたが、1得点を守り抜き、初戦を勝利で収めました。2試合目はボア益田とドローゲームでリーグ2位となり、再びP S V益田と決定戦を行い、県大会の切符をつかむことができました。県大会は7月6～7日、出雲市で開催されます。益田地域を代表して県大会でも鹿足S Sらしさを発揮して、頑張りたいと思います。

高いレベルの相手チームと戦い、技術向上、上位大会を目指しながら、人間性やコミュニケーションなど、サッカーを通じて選手の育成を進めていきたいと思っています。



大会結果

予選リーグ	対 P S V益田	○1 - 0	
	対 ボア益田	△1 - 1	リーグ2位通過
2位決定戦	対 P S V益田	○4 - 1	益田支部予選第2位

第46回島根県ユースサッカーU12交歓優勝大会

鹿足サッカースクールは5月25日（土）～26日（日）真田グラウンドよしかみらいで開催された第46回島根県ユースサッカーU12交歓優勝大会益田支部予選に参加しました。

初日、リーグ初戦はP S V益田と対戦し、拮抗したゲーム内容でしたが、2失点し、初戦は敗退。2試合目は高津F Cとの対戦で終始ゴールを目指し、見事2 - 0で勝利し、得失点差でリーグ2位となり、順位決定戦に進みました。

2日目、順位決定戦ではヨセフF C 1号と対戦し攻防を繰り広げ、両者ゴールを許さず拮抗した試合内容でしたが、延長戦で鹿足S Sがゴールを決め、1 - 0で勝利。決勝戦へコマを進めました。

決勝戦は再び、P S V益田との対戦でした。双方ゴールを奪い合い、鹿足S S選手は全力でゴールを目指し、体を張って懸命にプレーしましたが、力及ばず2 - 3で惜しくも敗退しましたが、県大会の切符をつかむことができました。県内の高いレベルの相手チームと戦い、技術向上を目指しながら、人間性やコミュニケーションなど、サッカーを通じて選手の育成を進めていきたいと思っています。

県大会は6月8～9日、益田市美都ひだまりパークで開催されます。益田地域を代表して県大会でも鹿足S Sらしさを発揮して、頑張りたいと思います。



大会結果

予選リーグ	対 P S V益田	●0 - 2	
	対 高津F C	○2 - 0	リーグ2位通過
準決勝	対 ヨセフF C 1号	○0 - 0	(延長1 - 0)
決勝	対 P S V益田	●2 - 3	益田支部予選第2位



2024サンフレッチェ広島サッカー教室開催

5月12日（日）、吉賀町民六日市体育館で鹿足郡内の小学1～4年生を対象にサンフレッチェ広島サッカー教室を開催しました。当日は35名の児童が参加し、汗を流し楽しそうに動きまわっていました。



サンフレッチェ広島普及部コーチの指導のもと、吉賀高校サッカー部生徒に協力をいただき、受付・撮影と一緒に体を動かし笑顔あふれる一日を過ごしました。吉賀高校サッカー部生徒は日本サッカー協会公認のキッズリーダーを取得し、低学年・幼児との関わり方、接し方、楽しさの中に狙いをもった指導方法を学んでいます。

いろいろなステップや体のバランス感覚、ボールフィーリング、ゲームを行い、たくさんのゴール、児童の一生懸命な姿をみる事ができました。



今後もキッズ世代を中心にイベントやサッカー教室の企画をしていきます。

2030年に島根県は国スポ・全スポの開催県であり、吉賀町民真田グラウンドよしかみらいはサッカー会場に選定されています。

今後も様々なイベント、競技に関わる機会を設けて、機運醸成を図り盛り上げていきたいと思ひます。

国際交流イベント ピザで世界を表現しよう



5月19日（日）に七日市公民館で国際交流イベントを行い、28人の日本人と外国人の方がピザ作りを通して、交流を深めました。1グループ5～6人で2つのピザを一緒に作りました。『世界』というテーマでピザを作ってもらい、それぞれが思い描く『世界』をピザの上に表現してもらいました。



環境問題をテーマに、緑（野菜）でいっぱいピザを作ったグループもいれば、世界の多様性を表現するため、とにかく沢山の具材を入れて作ったピザや、笑った顔を表現したピザを作ったグループなどいろんな世界を表現したおもしろいピザを作りました。

イベントでは、外国人の方が日本人の方にピザを作ったり日本人の方が外国人の方に日本語を教えたりなどのシーンがありました。

吉賀町は島根県の中で外国人比率（外国人数÷総人口）が1番高い市町です。日本人も外国人も誰もが安心して暮らすことのできる町をめざしていきたいです。



～家庭に眠るパソコン・小型家電を資源に～

皆さんのご家庭では、使用しなくなったパソコンや携帯電話は眠っていませんか。「捨てたいけどデータの消去方法がわからない」、「製造メーカーに問い合わせるのが面倒くさい」などの理由で、捨てられずに保管されている方も多いのではないのでしょうか。パソコンや携帯電話、電子レンジ、炊飯器、カメラ、ゲーム機、電気カミソリなど普段ご家庭で使用する電子機器（家電リサイクル法対象品であるテレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機を除く）は、小型家電と呼ばれ、鉄やアルミ、銅、貴金属、レアメタルなどの有用な金属が含まれています。それらの貴重な資源を無駄なく適正にリサイクルすることが大切です。

吉賀町では、小型家電リサイクル認定事業者であるリネットジャパンリサイクル(株)と連携協定を締結しております。不用なパソコン・小型家電をダンボールに詰め、インターネットから申し込むと、宅配業者（佐川急便）が自宅まで回収に伺います。ダンボールの中にパソコンが含まれていると、回収料金は無料です。（1つのダンボールに収まらない場合やブラウン管など、回収が有料となる場合もございます。）詳しくは、リネットジャパンリサイクル(株)のホームページ（URL:<https://www.renet.jp>）を検索してください。

皆さんも宅配便回収を利用して家庭に眠るパソコン・小型家電を整理し、貴重な資源にリサイクルしてみたいかがでしょうか。

資源ごみの出し方

【資源ごみを出すときのお願いについて】

適切に排出された資源ごみは、資源物としてリサイクルされています。しかしながら、資源ごみの中に資源ごみとして出せないものが混ざった状態で出されているところを処理作業場所等で発見されております。

近頃、紙以外の素材（ビニール、シール、フィルム、金具など）が取り除かれずに排出されている事案が増えております。今一度、ごみの正しい分別方法を確認いただきますようお願いいたします。

【注意事項】

- リサイクル品質向上のため、しばるひもは「紙ひも」をご使用ください
- 資源ごみの種類ごとに四方をしばって出してください（下図参照）
- 収集場所は各地区で資源ごみ収集場所が決められております。可燃ごみや不燃ごみの収集場所とは異なりますのでご注意ください。（吉賀町HPに掲載してあります。）
- 収集日は地区ごとに異なりますので、ごみカレンダーをご確認ください。
- 収集場所に資源ごみ収集推進員がいる場合、指示に従って排出してください。

●衣類



- ・洗濯し、たたんで、重ねて出してください
- ・汚れているものは「可燃ごみ」で出してください
- ・透明な袋に入れ、雨水にぬれないよう、口をしっかりしばってください
- ・ボタンやファスナーはつけたまま出してください

【資源ごみとして出せないもの（間違えやすいもの）】

皮製衣類、毛糸製衣類（セーター等）、
綿や羽毛が入った衣類（ジャンパー、ダウンジャケット等）、 → 「可燃ごみ」で出してください
下着、靴下、帽子、タオル、ハンカチ、シーツ、カーテン

ふとん、毛布、マットレス、 → 「粗大ごみ」で鹿足郡不燃物処理場に直接搬入してください
じゅうたん、カーペット、座布団

かばん、手袋、靴、ぬいぐるみ、雨具 → 「商品プラスチック（黄色の袋）」で出してください

●ダンボール



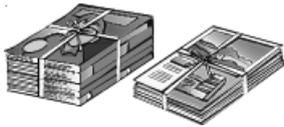
- ・たたんでしばってください
- ・汚れているものは「可燃ごみ」で出してください

●新聞紙・折り込みチラシ



- ・四つ折りでしばってください（折り込みチラシと一緒にしばってもよい）
- ・汚れているものは「可燃ごみ」で出してください

●雑誌類・雑紙（ざつがみ）



- ・紙以外の素材（ビニール、シール、フィルム、金具など）は取り除いてください（ただし、「ホッチキスの針」は外さなくてもよい）
- ・汚れているものは「可燃ごみ」で出してください

【具体例】

- ・雑誌、書籍、文庫本、紙箱、紙袋、コピー用紙、包装紙、チラシなど
- ・ティッシュ箱（取り出し口のフィルムは取り除く）
- ・カレンダー（金具は取り除く）
- ・ダイレクトメール、カタログ（包装用のビニールは取り除く）
- ・封筒（窓のフィルムは取り除く）
- ・紙製ファイル（綴じ具は取り除く）

【資源ごみとして出せない紙類】

- ・汚れやにおいのついた紙（洗剤や線香の箱など）
- ・防水加工した紙（紙コップ、紙皿、コーティングされた包装紙など）
- ・圧着はがき、レシート、写真、アルバム、紙おむつ、米袋など

●紙パック

- ・水洗いし乾燥させてから広げて四方をしばってください
- ・内側がアルミのものは「可燃ごみ」で出してください

【よくあるご質問（FAQ）】

Q. 回収された資源ごみは、何に再生利用されますか？

A. 次のとおりです。

ダンボール	主にダンボールに再生利用されます
新聞紙	主に新聞紙、コピー用紙に再生利用されます
雑誌類	主にダンボール、菓子箱、書籍に再生利用されます
紙パック	主にトイレットペーパーに再生利用されます
衣類	主に中古衣料、工業用雑巾に再生利用されます

Q. 資源ごみをしばるひもは、ナイロン製のものを使用してよいですか？

A. リサイクル品質の向上を図るため、ナイロン製ではなく紙製のひもをご使用ください。

Q. 雑紙の内外にアルミやビニール加工されているものは資源ごみになりますか？

A. 汚れやにおいのついた紙や加工された紙は資源ごみとして回収出来ません。

後期高齢者医療制度についてのお知らせ

令和6年度分から保険料の計算方法が変わります

◇保険料率について（令和6・7年度）

後期高齢者医療制度では、被保険者のみなさまに負担していただく保険料の料率について、2年ごとに改定を行います。このたび、令和6・7年度の保険料率については、令和6年2月9日に開催された島根県後期高齢者医療広域連合議会において、次のとおり決定されましたのでお知らせします。

	令和4・5年度	令和6・7年度	比較
均等割額	50,880円	50,160円	720円減
所得割額	9.35%	10.08%	0.73%増

4月から3月までの年間保険料は、前年の所得状況に応じて個人ごとに計算し、7月にそれぞれ通知を行います。なお、保険料は世帯の所得等によって軽減されることがあります。

保険料の計算方法

[均等割額] 被保険者一人当たり 50,160円	+	[所得割額] 賦課のもととなる所得金額※1 × 所得割率10.08%※2	=	【年間保険料】 賦課限度額 80万円※2※3
--------------------------------	---	---	---	------------------------------

- ※1 「賦課のもととなる所得金額」は、前年の総所得金額等（「公的年金収入－公的年金等控除」「給与収入－給与所得控除」「事業収入－必要経費」等で各種所得控除前の金額）から基礎控除43万円を差し引いた額です。
- ※2 給与所得がある方は、所得金額調整控除が適用される場合があります。
- ※3 「令和5年分の総所得金額等－基礎控除額43万円＝58万円以下」の人は、令和6年度の保険料に限り、所得割率9.30%、賦課限度額67万円が適用されます。
- ※4 「昭和24年3月31日以前に生まれた人」、「令和7年3月31日以前に障がい認定により被保険者の資格を有している人」は、令和6年度の保険料に限り、賦課限度額73万円が適用されます。

◇均等割額軽減措置の所得要件の改正について

世帯の所得状況に応じて下記のとおり均等割額が軽減されます。

低所得者に対する保険料の負担を軽減するため、令和6年度保険料から対象者の所得要件が変わります。

令和5年度

対象者の所得要件（世帯主及び世帯の被保険者全員の軽減判定対象所得の合計額）	均等割の軽減割合
43万円 【+10万円×（年金・給与所得者の数－1）】以下	7割
43万円 【+10万円×（年金・給与所得者の数－1）】+29万円×（被保険者数）以下	5割
43万円 【+10万円×（年金・給与所得者の数－1）】+53,5万円×（被保険者数）以下	2割

令和6年度から

対象者の所得要件（世帯主及び世帯の被保険者全員の軽減判定対象所得の合計額）	均等割の軽減割合
43万円 【+10万円×（年金・給与所得者の数－1）】以下	7割
43万円 【+10万円×（年金・給与所得者の数－1）】+29,5万円×（被保険者数）以下	5割
43万円 【+10万円×（年金・給与所得者の数－1）】+54,5万円×（被保険者数）以下	2割

※【 】内の計算は世帯主（後期高齢者医療制度の被保険者ではない場合も含む）及び世帯の被保険者全員の年金・給与所得者数が2人以上の場合に限ります。

※前年度の1月1日において65歳以上の方は、軽減判定の際に限り公的年金の所得から15万円を限度として控除があります。

※軽減判定の際には、「専従者控除」「居住用財産や収用により譲渡した場合等の課税の特例」の適用はありません。

※所得等の申告がない場合は、軽減されないことがあります。

※軽減判定は、賦課期日（4月1日または資格取得日）時点で行われます。

<p>被保険者証の年次更新</p>	<p>【後期高齢者医療の保険証を更新します】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●75歳以上の人（または65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、申請により広域連合が障がい認定した人）の現在お使いの保険証（オレンジ色）は、令和6年7月31日までお使いになれます。 ●令和6年8月1日からお使いいただく保険証はクリーム色で、令和7年7月31日までお使いになれます。7月中に郵便でお届けします（保険料の未納がある方は市町村役場でお渡しします）。 ●令和5年中の所得等の状況により、医療機関等での窓口負担割合が変わることがあります。（1割」「2割」「3割」のいずれか）お医者さんにかかるときは、保険証に書いてある住所や氏名等のほか、「一部負担金の割合」もお確かめください。
<p>限度額証等の年次更新</p>	<p>【標準負担額減額認定証・限度額適用認定証を更新します】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在お使いの限度額適用・標準負担額減額認定証、限度額適用認定証（白色）の有効期限は令和6年7月31日までです。新しい認定証は、7月中に郵便でお届けします。 ●入院等のため必要になったときは、市町村役場で申請してください。
<p>保険料決定通知書の送付</p>	<p>【令和6年度分の保険料をお知らせします】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度分の保険料額は令和5年中の所得等の状況により計算し、7月中に郵便でお知らせします。 <p>【保険料の納めかた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別徴収（年金引去り）の人は、10月以降も引き続き年金から引去ります。口座振替の人は、引落しの前日までに残高をお確かめください。納付書が届いた人は、納付期限までに金融機関等で納めてください。
<p>音声版しおり</p>	<p>【制度を音声でご案内するCDを配布しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●後期高齢者医療制度について、希望された人に音声版の「後期高齢者医療制度のしおり」のCDをお配りしています。また、貸出しも行っていきます。 ●希望する人は、市町村役場か島根県後期高齢者医療広域連合（0852-20-7526）までお知らせください。
<p>マイナ保険証の利用促進</p>	<p>【マイナ保険証をご利用ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードを健康保険証として利用することができます（事前に保険証利用登録が必要です）。 ●マイナ保険証を利用することで、次のようなメリットがあります。 <ol style="list-style-type: none"> ①紙の保険証に比べて、医療費の窓口負担額が安くなります。 ②過去のお薬情報や特定健診の結果を医療機関に共有することで、データに基づいたより良い医療を受けることができます。 ③限度額認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。 ●マイナ保険証について、詳しくは厚生労働省WEBサイト（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html）でご確認いただけます。お電話でのお問い合わせは、マイナンバー総合フリーダイヤル（0120-95-0178）までお願いします。

サマージャンボ宝くじ

サマージャンボ宝くじ7億円、サマージャンボミニ5千万円が7月8日(月)～8月8日(木)の期間で販売されます。

この宝くじの収益金は各県ごとの販売実績に基づいて配分され、市町村のまちづくりに使われることから、お買い求めの際は、「島根県内の販売所」もしくは「宝くじ公式サイト」から購入をお願いします。



吉賀高校 支援室だより

～スタッフの思い vol. 1～

「どうして町役場が県立高校の支援をするの?」と不思議に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが。

吉賀高校は言わずと知れた、町内唯一の県立高校です。かつては学生寮を有し、多くの生徒が在籍しましたが少子化の影響もあり、ひと学年40人の定員に達しないことが珍しくなくなります。県立高校再編の波が押し寄せ、いよいよ町から高校がなくなる!という危機感から、町の高校支援が始まりました。

町内の子どもが減少する中、町外・県外の生徒を募集するための受け入れ施設(サクラマス交流センター)の整備と、公設塾(よしか塾NEXT)の設立、支援体制の構築(高校支援室)の3本柱が掲げられました。令和5年4月真田交流センターで男子生徒の受け入れを開始し、ついにこの3本柱がそろったところです。

現在、島根県教育委員会は「県立高校魅力化ビジョン」を、島根県は「高校を核とした地方創生」を掲げ、高校と市町村、地元企業や地域住民が連携し地域課題を解決し地域振興を図る協働体制の構築(=コンソーシアムの設立)を推進しています。吉賀高校のコンソーシアムは「吉賀高等学校支援協議会」が担っており、その事務局は支援室が持っています。高校生にとって、住んでいるまちを舞台に(しかも地元企業や住民、役場と一緒に)地域課題の解決に向けた探究学習ができることは、都市部では実現しがたい貴重な経験となります。一方、人口の減少に苦しむ吉賀町にとって高校生は「支援する対象」ではなく、「共同経営者」になり得るのかもしれない。

「協働」や「連携」などの単語がそこかしこで聞かれるようになりましたが、実際のところは「イベントなどに参加し、その時その場と一緒に過ごして満足している」ということも少なくありません。簡単ではないかもしれませんが、関わる人たちが対話を中心にもに悩み、ともに考え、ともに計画し、ともに実行し、ともに振り返り、ともに進んでいく・・・ということの本コンソーシアムではめざしていきたいと思えます。

役場職員として日々まちづくりや地域づくりを考えながら仕事をしています。誰かが得して誰かが損しているという考え方ではなく、自分に関わるこの共同体をよりよくしていくために何ができるか?何がしたいか?そんな風にみんなで考えることができたらいいなと思っています。「吉賀高校」は、吉賀町のまちづくりを描くジグソーパズルの決して小さくないピースの一つと言えるのではないのでしょうか。

町長コラム

Vol.76



吉賀町長
岩本一巳

蔵木地区で 「移動カフェ」が活躍！

「人が集まる地区集会所や公民館に行きたくても行くことが出来ない」「人と話をする機会が少なくなり、だんだん外へ出るのも嫌になった」「寒い時期には家に閉じこもる時間が長くなった」など、高齢者を中心に地域の方がお互い顔を合わす機会が少なくなっています。蔵木地区でもこのような声が届くようになり、その解決策の一つとして始めたのが、軽トラハウスでした。色々な事情で集いに出掛けることのない方々に対し、公民館側から訪問することを考案したのです。それが、名付けて「移動カフェ」です。



【移動カフェの様子】

地元在住の大工さんや島根県立大学地域政策学部学生の皆さんの協力のもと作られた小さな店舗（お店）を軽トラックに乗せて運ぶため、どこへでも移動可能です。令和4年から準備やデモンストレーションを行い、昨年からは活動を始められました。これまでに出席した地域は、田野原・初見新田・本蔵木・金山谷・樋口です。ご近所の方とお茶やコーヒーを飲んだり、焼き芋を食べたりして、自由気ままに楽しい時間を過ごします。時には、焚火をしたり、山菜料理にも挑戦しました。また、地域在住の外国人の皆さんとの交流やライブ演奏もありました。この企画は、もともと吉賀町社会福祉協議会が行う蔵木地域支え合い会

議の中で、皆さんの話し合いで提案されたと伺いました。ご近所同士で助け合う「向こう三軒両隣」を復活させたいという思いからだったようです。



【軽トラハウス】

私は去る5月20日（月）午前、田野原地区で開設されたこの「移動カフェ」に出向きました。当日は、地区内外から約20名の方々、公民館長及び公民館主事など多くの皆さんが参加されました。そして、お互いの近況報告や今後の地区行事などについてお話をされていました。私も普段聞くことの出来ない様々なことについて、意見交換をする機会を頂き、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

私は、今回「移動カフェ」に出向いて、改めて地域での助け合いの大切さ、住民同士の繋がり大切さを学ぶことが出来ました。年明けには、能登地方で大きな地震も発生し、今なお本格的な復旧作業にも着手出来ない状況が続いています。被災された皆さんは、厳しい環境の中で地域の皆さんと力を合わせて、日々頑張っておられます。まさに地域力だと思っています。

今、島根県では「小さな拠点づくり」を推進し、当町もこのことに取り組んでいます。住み慣れた地域で、安心して暮らす続けるためには、様々な課題の克服が必要です。そのためには、お互いが知恵を出し合い、出来ることから少しずつ取り組んでいくことが大切だと思います。蔵木地区で行われている「移動カフェ」は、「小さな拠点づくり」に貢献しています。



浄化槽とは・・・

まず浄化槽とは微生物の働きを利用して家から出た汚水を処理する装置のことです。この装置がないと汚水をそのまま川に流してしまうことになってしまいます。しかしこの装置も手入れが必要ないというわけではなく、定期的なメンテナンスや日々の使い方によっては本来の能力を十分に発揮できず処理能力が下がってしまいます。処理能力を維持するためには、1年を通してきちんと管理しなければなりません。今回はそんな浄化槽の維持管理について紹介します。

維持管理は大きく分けて3つあります

1. 保守点検

浄化槽の点検、機器調整や修理、消毒剤の補充を年3～4回行わなければなりません。

(型式により回数は異なります)

2. 清掃

浄化槽内に生じた汚泥などの抜き取りや調整その他機器類の洗浄を年1回以上行わなければなりません。

3. 法定検査

保守点検や清掃が適切に行われ浄化槽の機能が発揮されているかの検査を年1回行わなければなりません。

〈注意〉

上記1・2は各ご家庭が契約している維持管理業者が行い、

3は島根県浄化槽普及管理センターが行います。

これらすべてを行わなければ浄化槽の処理能力を維持することは出来ません！維持管理にはなかなか手間がかかりますが、日々の意識で浄化槽の処理能力を長持ちさせることができます。

少しの意識で処理能力を長持ちさせよう！！

トイレは十分な水量を流そう！

浄化槽に関わる電源は落とさないようにしよう！

便器の清掃には微生物に対して影響のある薬剤の使用は控えよう！

トイレトーパー以外を流さないようにしよう！

マンホールの上には物を置かずきっちり閉じているか確認しよう！

台所から天ぷら油や野菜くずを流さないようにしよう！

これらの日常の小さな意識が未来につながります！この機会に浄化槽の使い方を再確認してみたり、まだ少し先ですが夏休みの自由研究の題材として「浄化槽」について調べてみたりするのもよいかもしれません！

食育コーナー

毎月19日は、“食育の日”

『まごわやさしいか』のすすめ

皆さんは「まごわやさしい」という言葉を耳にしたことがありますか。

『まごわやさしい』は、意識して摂りたい食材の頭文字を集めたものです。バランスよく栄養が摂れるだけでなく、体調を整えたり、免疫力を強化したり、生活習慣病の予防にもつながります。日本人が昔から食べてきた伝統的な食品です。食材を選ぶ際や献立を考える際に「まごわやさしい」を意識してみると健康的なバランスの良い食事に繋がります。

吉賀町食生活改善推進協議会では、不足しがちなカルシウムを補うために、独自に『まごわやさしいか』をすすめています。

<p>ま まめ</p>	<p>(豆類・豆腐・みそ・納豆・きな粉など) たんぱく質とマグネシウムが豊富 →豆腐なら、三分の一丁、納豆なら1パック、きな粉なら20g</p>	
<p>ご ごま</p>	<p>(ごま・ナッツ類・クリ・ぎんなん・とちの実など) 老化の原因となる活性酸素を防ぐ抗酸化栄養素。 ミネラル・ビタミンEが豊富。ピーナッツやアーモンドなどの食べすぎは、脂肪の取りすぎになるので注意。</p>	
<p>わ わかめ</p>	<p>(わかめ・ひじき・昆布・のりなどの海藻類) ミネラル(カリウム・カルシウム・鉄・ヨウ素など)を多く含み、食物繊維も豊富で、その上、低カロリー。</p>	
<p>や やさい</p>	<p>(玉ねぎ・大根・白菜などの淡色野菜とほうれん草・トマト・人参などの緑黄色野菜) ビタミン、カリウム・カルシウムなどのミネラル、食物繊維がたくさん含まれている。特に、緑黄色野菜には、抗酸化作用(細胞のがん化や老化を防ぐ作用)のあるビタミンC・Eやリコピン・β-カロテンなどの色素が多く含まれ生活習慣病予防に役立つ。この地で作られた旬のものをとりましょう。 →成人は1日350g・子どもは3~5歳で200g~240gが必要。</p>	
<p>さ さかな</p>	<p>青魚(イワシ・アジ・サンマ・サバなど)には、脳の働きを良くするDHAやコレステロールを下げるEPAなどの良質の脂肪が含まれている。 骨ごと食べて、カルシウムも摂取しよう。</p>	
<p>し しいたけ</p>	<p>(しいたけ・えのき・シメジなどのきのこ類)  低カロリーで、ビタミンやミネラル類、食物繊維が多く含まれている。きのこ全般に含まれるβグルカンには、免疫力を高め、抗がん効果がある。</p>	
<p>い いも</p>	<p>腸内環境を整える食物繊維が豊富。 ビタミンCが豊富で、でんぷんに保護されているため、過熱による損失が少ないことが特徴。</p>	
<p>か カルシウム</p>	<p>(牛乳・乳製品・小魚・大豆類・海草等) 骨や歯の構成成分。 →目標は、1日600mg以上。(牛乳1本で220mgのカルシウム)</p>	

吉賀町では、毎年6月末から冬季にかけて、特定健診やがん検診を行っています。
健康づくりに欠かせない習慣として年に一度は健康診断を必ず受けましょう！
健康診断の詳細につきましては、保健福祉課へお問い合わせください。

1. 実施期間

令和6年7月1日（月）～9月30日（月）

2. 実施医療機関

松浦内科胃腸科	77-0111
小笠原医院	79-2012
栗栖医院	79-2006
よしか病院	73-7575

3. 対象者

- ① 40～74歳の国民健康保険加入者
- ② 75歳以上の方で、生活習慣病の治療の一環で、病院又は診療所において、健診の検査項目と同様の検査を定期的に受けていない人（詳しくは保健福祉課へお問い合わせください）
- ③ 40歳未満の方

4. 受診方法

- ・医療機関に、必ず事前予約をしてください。
- ・特定健診と合わせて、胸部レントゲン、前立腺がん検査、大腸がん検診の受診を希望される場合は、予約の際に医療機関にお伝えください。

5. 受診の際に持参するもの

40歳未満の方	保険証、質問票（記入して持参）、自己負担金
40～74歳の方	保険証、特定健康診査受診券、質問票（記入して持参）、自己負担金
75歳以上の方	後期高齢者医療被保険者証、質問票（記入して持参）自己負担金
生活保護受給者	質問票（記入して持参）

健診に関するお問い合わせ先
保健福祉課 77-1165

【協会けんぽ加入の被扶養者の皆さまが受診できる健診】

- **40歳～74歳の被扶養者の皆様**が受診できる健診は、協会けんぽの特定健康診査です。
- 協会けんぽの特定健康診査は**協会けんぽから費用補助があります**。
- 健診のお申込みは、ご希望の健診機関に直接予約をお願いします。受診の際には「**受診券**」と「**保険証**」が必要です。※受診券は4月にご自宅にお送りしています。
- 健診実施機関や受診方法は、**協会けんぽ島根支部ホームページ**からご確認いただけます。

【お問い合わせ先】

全国健康保険協会（協会けんぽ）島根支部 保健グループ
☎0852-59-5204 ホームページ検索☎協会けんぽ島根

吉賀町立図書館

【夏のDVD上映会】

衣替えの季節を迎えました。暑い夏がやってきます。DVDの上映会を次の通り予定しています。館内にポスターなど掲示していますので、ご家族や友人など誘い合っでご来館下さい。

○日時 8月3日(土) 上映時間1時間54分

午前の部10時〜 午後の部13時〜

○作品「人生、いろいろ」

過疎地(徳島県上勝町)で、地元の70代、80代の女性たちが、新ビジネスで地域を活気にあふれさせる物語です。登場人物は、若き農協職員と衰退したみかん農家の人々です。年齢の違った人たちの思いが一つになった時、奇跡がおきたのです。実話が基になっているので、自然と身近に捉えることができます、私たちも元気を戴けると思っています。

出演 吉行和子・富司純子

中尾ミエ・藤竜也 など

【CDとDVDの鑑賞】

図書館には、図書以外にCDやDVDがあります。CDは貸出ができますが、DVDは鑑賞するだけです。CDは、クラシックからポピュラーな音楽、子ども向けの音楽もたくさんあります。落語のCDもありますので、ファンの方にはお勧めいたします。DVDは、名作童話やディズニー作品もあります。館内の視聴覚コーナーで観ることができます。

どうぞ、ご利用ください。

《ベスト・リーダー! 5月》

書名	著者
「ヒポクラテスの悲嘆」	中山 七里
「夏空」	今野 敏
「いいひと、辞めました」	ふかわりょう
「豆乳でいいんだ」	小松 友子
「燃える氷華」	斎堂 琴湖

[休館日と返却ポスト]

- ・毎月曜日と祝日
- ・7月31日(水)
- ※図書整理のため
- ・図書返却ポスト

吉賀町内各公民館前に設置

《図書館利用状況5月》

- 貸出総数 3058冊
- 貸出人数 399人
- 来館者数 439人

柿木『図書だより』

開館 9:00~16:00(平日)
 *毎月曜日と祝日が休館日です
 *第2・4の土日は9:00~16:00
 電話(0856)79-2553
 島根県鹿足郡吉賀町柿木79番地

図書室だより

いよいよ夏のレジャーシーズン本番。山や川、海と自然と仲良くなれるチャンスがいっぱい!夏を満喫しましょう。ただ、いろいろな危険も。山は、天候が急に変わりやすいもの。事前に天気予報をチェックして、無理はしないようにしましょう。ツタウルシやハゼノキは、ふれるとかぶれを起すことが。山歩きは、なるべく肌を露出しない服装で。そして川遊び、釣りをしたり、泳いだり、水辺の生き物をつかまえたり・・・せせらぎを聴きながら、昔の生活のことを考えてみるのも楽しいですね。水に入るときは、ライフジャケットと滑りにくく脱げにくい靴の着用を。

今月の本の紹介

大作家でも口はすべる
 君たちはどの主義で生きるか
 書いてはいけない
 いま子どもと本を楽しもう
 存在のすべてを
 きこえる

彩図社文芸部

さくら 剛

森永 卓郎

片岡 徳雄

塩田 武士

道尾 秀介

万城目 学

辻村 深月

夏川 草介

坪田 侑也

多崎 礼

加藤 シゲアキ



2024 7 サラネットにちはら

番組スケジュール

※編成の都合上、番組・内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

月	火	水	木	金	土・日	
6時～ 体操の時間						
9	00 吉賀町の地域と医療をつなごう 吉賀町の地域と医療をつなごうの設立を記念して開催されたシンポジウム 2024年5月12日収録 吉賀町六日市基幹集落センター	00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 日本遺産さんぽ 45 気仙沼めつけ	00 七日市神楽祭2024 県内の神楽社中を招いて開催された神楽公演の様相をお送りします!	00 フォトプロビデキナーズ 15 出雲舟よもやま話 30 くわいだん -怪談- 45 おべたわ!OOO大先生	00 『みどりの食料システム戦略』をもっと早く、大きくするのために! 【基調講演】 尾池 和夫(地震学術) 樋口 ふみ(吉賀町在住防災士) 藻谷 浩介(地域エコノミスト) 2024中国サッカーリーグ ≪12日 9時≫ ペルガコッソリいわみ vs FCパルティン ≪26日 9時≫ ペルガコッソリいわみ vs Yonago Genki SC	6時～24時 ニュース・サラネット (1時間おき)
10	≪8日・22日 9時≫ ニュース・サラネット総編集 6月放送分	00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅	【出演】飯南神楽団(飯南町) 【演目】神迎え・土蜘蛛・悪狐伝 山姥・程原入道・大江山	00 出雲のほそ道 30 島大病院ちよつと気になる健康講座	≪8日 9時≫ ペルガコッソリいわみ vs FCパルティン	ニュース・サラネット終了後 6・7日 かのあし安全安心だより 津和野警察署員が津和野内の安全安心に関する情報をお届けします 27・28日 魅力説明!津和野城 vol.2 築城700周年を迎えた津和野城の魅力について歴史を紐解きながら紹介
11	00 フォトプロビデキナーズ 15 出雲舟よもやま話 30 くわいだん -怪談- 45 おべたわ!OOO大先生	00 津和野高校文化部合同公演 JAM the 21st	【友情出演】久次呂太鼓保存会 2024年5月5日収録 吉賀中学校体育館	00 縁の国しまねツアー2024 益田大会 益田市出身のプロスノー・日高都人選手が4年4ヶ月ぶりに凱旋!! 白熱の対戦を一挙公開! 00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅	00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 日本遺産さんぽ 45 気仙沼めつけ	
12	00 フォトプロビデキナーズ 15 出雲舟よもやま話 30 くわいだん -怪談- 45 おべたわ!OOO大先生	00 津和野高校の合唱部、吹奏楽部、美術部による合同公演の様相をお送りします!	00 縁の国しまねツアー2024 益田大会 益田市出身のプロスノー・日高都人選手が4年4ヶ月ぶりに凱旋!! 白熱の対戦を一挙公開! 00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅	00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 日本遺産さんぽ 45 気仙沼めつけ		
13	00 出雲のほそ道 30 島大病院ちよつと気になる健康講座	13:30 『砂の器』と木次線語る 読書講演会	13:30 映画『砂の器』公開50周年 記念講演会 春日太一・スズキヤマトーク 時代劇・映画史研究家 藤原 龍一 著者 春日太一さんが知られざるエピソードを語る	00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 日本遺産さんぽ 45 気仙沼めつけ		
14	00 おくいずも新探訪～さらに「奥へ」 15 ひらたナビ山ちゃんど行く 30 CAM情報ネットしまね	13:30 『砂の器』と木次線語る 読書講演会 『砂の器』と木次線とを出版した村田英治さんの著書の内容を紹介し、ふるさとへの想いを語る		00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 日本遺産さんぽ 45 気仙沼めつけ		
15時～ 体操の時間						
17時～ 9時台からの番組をリピート放送						
議会中継日程【112CH】 津和野町議会6月定例会 一般質問 7月8日(月)～9日(火) 吉賀町議会6月定例会 一般質問 7月15日(月)～17日(水) ※放送時間はテレビの番組表でご確認ください		津和野高校文化部合同公演JAM the 21st 津和野高等学校文化部による 楽器演奏や作品展示等の様子をお送りします 2024年6月15日収録 津和野高校体育館 島根県議会中継日程【112CH】 第490回島根県議会 本会議 7月3日(水) 10時～		ご縁の国しまねツアー2024益田大会 ▼30分1本勝負 ◎日高都人 vs TAKAKI ちのく ◎青木いつ希 vs 水波綾 ◎船木誠勝 & 間下隼人 vs 鈴木鼓太郎 & 岩崎永遠 ▼110分提供試合タッグマッチ(30分1本勝負) ◎フアインター勝巳&十文字アキラ vs タケ源太&KEITA ▼20分1本勝負 ◎世羅りさ&しやあ vs 柳川澄輝&神姫菜ミサ ▼15分1本勝負 ◎ツマネリオ vs ボンバータツヤ		
サラネットLINE公式アカウント  番組情報などお届けします! ぜひ友達登録をお願いします!						



《寄稿》
俳句始めました

竹中 和博

元旦の能登半島地震、某党の裏金問題と次々と起こる事件を見聞きして、「ふっと」七五調で溜息をついたのがきっかけで、それ以来、目にするもの、人の話、家族の言動、仕事など頭の中は常に七五調で一杯の毎日です。

三月からは町内の俳句会に入会させて頂きまして、月一回の集いに参加し、先生や会員の皆様に私の拙い句を見てもらって研鑽を積んでいるところです。おかげ様で広報にも、公民館のロビーにも発表の機会を与えてもらい大変感謝しています。

作れば作る程奥の深いもので、季語の本、国語辞典、諸先生方、先輩の方々の句を再読したりと四苦八苦の連続です。

この前までは全くの素人だったのですが、物を見る目も変って来たと思います。観察力、洞察力、表現力等々が少しですが豊かになったのではと自負しております。

私も広報等に素人文を載せて頂いていますので俳句の勉強も大変力になっていきます。

頭の体操というか、今風に言えば「脳活」にはもって来いのものだと思います。

皆さんも是非、日々思った事や、見たものを七五調で口ずさんでみて下さい。

《寄稿》
郷里回想録十四

橋本 雅夫

町内の広石及び立戸地区は古の埋蔵文化財遺産等が多分に経眼存在する土地柄であり、取り分け此の広石区内に残存する古墳は今から凡そ千三百年前の古墳時代の墳墓にて、現状は壁をなす石積及び石棺の一部が残存す。是は六世紀末より七世紀初頭における石見地方の特徴を最も兼ね備えた豪族一家の無袖型家族墓であり、当吉賀地方古墳期の歴史を知り得る第一級の遺跡として頗る顕著である。昭和二十年代後半の初冬の事、地元有志方により発掘にて、勾玉・矢尻・弥生式土器片等々多数の副葬品類等が出土経緯を合わせ鑑みるに至る。因に近隣区内立戸に鎮座せし立戸八幡宮社境内一角の「當社六百年祭記念」の石碑も此の古墳石棺の一部と伝承す。又、此の古墳の所在地は「大字広石字大谷」となすが、正規名で有りしも同町内抜月区内の「大谷」との混同を避ける為、敢えて「大谷原」と銘名す。あるいは、かつての江戸期に於ける参勤交代道をも此の古墳の山裾下通過経緯

仮定と継承す。又、此の古墳より対山にして東南側は中世に於ける遺構等古城跡「五郎丸城址」もそびえ立ち一望す。此の城址の東側面は防御策一端的の貴重な空堀等々を始め、周辺は同城主「上杉五郎丸」の墳墓や、郷士「吉見一中」の墓碑、あるいは立戸八幡宮社拜殿天井の幕末絵師「永安薫腕」の揮毫画、同期幕末津和野藩主所用御立山御用役人御墳墓、更に岩田免、金五郎名(苗)の五輪塔など当町歴史文化遺産が数多存在をなす著名地の一つでもある。時々刻々と時代の変貌遂げしも清濁併せ呑むに程に至らずも只管にて郷里古を回顧雑筆ながら綴りし九郎原真夏の陽炎を見ゆころ。

《寄稿》

わだつみの声の上映の時

田村 民子

私が実際見たのは、旧柿木中学校の横に小学校があり、先生が見に行けと言って「わだつみの声」が分からないまま行き、わだつみの声など何の事か分からなかった。第二次大戦に学徒出陣した戦没学生七五名手記と中学二年生の時分かった。戦争の愧死(死ぬほど恥しく思うこと)、今では教授も学生も死に、一冊の本も風にくまれてしまっている。

私は憲法は知らない。しかし、憲

法は変えられようとしている。我が身ではなく、孫のため又若い人も例外でない「危機」を考えなければいけない。内閣決定が国の前途を決め、選挙の結果次第では憲法は手に付けず解釈改憲もあり得ると言う。平和憲法下にある日本ですが、アメリカ、フィリピン、韓国など対中国の連携を広げつつある危うい日本を守りたいと思います。

ドローンとか近年急速に普及した産業の支援や個人の趣味に用途が広がったため、夏目漱石の小説「行人」にこんな一説があります。「人間の不安は科学の発展から来る。進んで止まることを知らない化学は、かつて我々に止まる事を許した事がない」。AIもドローンも徹底的に平和のために使い、平和を望む人の方が多いはずだから、きっと出来ると思いたい。

《俳句》

愛宕山土器のかけらの縄もやう

田村 民子

初夏世話ありて開扉広石薬師様

橋本 雅夫

伸びすぎし茶を摘む姥の童唄

齋藤 ツル子

妻のキャー蛇あわている畦の径

竹中 和博



ちょうみんひろば



図書室の窓から見ゆるほととぎす

村田 綾美

たおやかに風に押さるる植田かな

三浦 一美

田植終へ酒を買ふ人九十二

山崎 美智子

塩むすび二つの夕餉昭和の日

茅原 久子

葉桜や夕日の庭に出て別れ

河野 由希

校庭の白線夏の来りけり

青木 道子

若苗に豊作祈る田植えかな

村上 毅

《川柳》

白髪染めし鏡に写る君は誰

竹中 和博

水泳は酸素運動効果有り

岩上 武史

泳ぎすぎ疲れて垂れる鯉幟

石村 菊夫

好天に高く泳ぐこいのぼり

安永 藤子

天気晴朗も泳ぐに寒し初夏のころ

橋本 雅夫

言い訳に目が泳いで今頃は

水上 健二

泳がせてイタズラ現場確認す

折口 沙羅

世の中をうまく泳げず金槌に

池下 邦枝

久し振り講義を受けて目がおよぐ

寺戸 美瑛子

こいのぼり屋根より高く泳げない

大庭 和子

鯉幟り競ひて泳ぐさまを見る

田村 民子

強風で泳いだ鯉もちぎれ落ち

澤 三智代

巢立つまで動物の親忙しい

村上 毅

《短歌》

我家の遺産いくばくか関りて

はらかりの緑うすくなりくる

田村 民子

ぼたん咲きギラギラ陽射しいたいて

泥手洗いて洗濯入れる

齋藤 みどり

花御堂幾杯掛けしか浴仏に

杓の手止まる古稀にたす三つ

竹中 和博

思ひ出の昭和はるけし小学校の

双老大樹花の散りかふ

長峯 辰雄

苗箱を育苗機に入れ日々覗く

小さな芽ぶきに心落ちつく

村上 勝史

出生くすこやかに (5月届出)

佐々木 凜菜(りま)さん

翔多・睡菜さんの子 七日市

中田 風音(なぎと)さん

真晴・彩加さんの子 蔵木

同意が得られた方のみ記載しています。

お悔みやすらかに (5月届出)

齋藤 喜治 さん 96歳 柿木

益野 定之 さん 96歳 注連川

齋藤 盛明 さん 72歳 椈谷

山崎 健司 さん 65歳 立河内

同意が得られた方のみ記載しています。



【お詫びと訂正】

広報よしか6月号No.224の中で一部誤りがありました。お詫びし訂正させていただきます。

○19頁 竹中さんの《寄稿》27行目 正…山崩れ洪水侵水の恐れ 誤…山崩れ洪水親水の恐れ

寄稿・文芸コーナー 応募方法とお知らせ

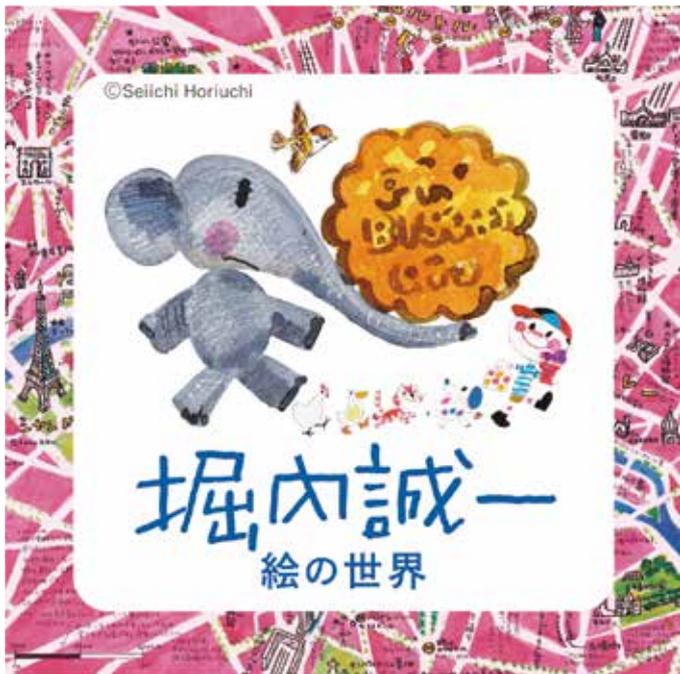
- 毎月1日までに企画課へ提出してください。
 - 寄稿の場合は五〇〇字以内としてください。
 - 楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。
 - 応募作品は基本的に原文のまま記載しますが原文の意味を損なわない範囲で修正場合があります。
 - 作品の内容によっては掲載しない場合があります。
 - 応募多数の場合等は掲載しない場合があります。
 - 原稿はお返ししません。
 - 掲載希望のコーナー名を記載ください。
 - 掲載の有無は連絡いたしません。
- ※応募された方は右記を了承いただいた事とさせていただきます。

グラントワ
Grand Toit

島根県芸術文化センター
 SHIMANE ARTS CENTER
 石見美術館
 IWAMI ART MUSEUM
 いわみ芸術劇場
 IWAMI ARTS THEATER

掲載されている内容は、2024年5月25日時点の情報です。
 最新の情報は、グラントワホームページをご覧ください。

〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」
 TEL: 0856-31-1860 FAX: 0856-31-1884
 E-mail: grandtoit@cul-shimane.jp https://www.grandtoit.jp



2024年7月6日(土) → 9月2日(月)

開館時間: 9:30-18:00 (展示室への入館は17:30まで)
 休館日: 毎週火曜日(8月13日は開館)

【観覧料】当日券(企画展のみ)/一般1,000円、大学生600円、小中高生300円
 前売券/企画・コレクション展セット900円

島根県立石見美術館

特設サイトはこちら



フルートと弦楽で贈るアンサンブルコンサート
新日本フィルハーモニー交響楽団

チケット発売中

2024年7月28日(日)
 開場13:15 開演14:00 グラントワ大ホール
 [入場料(全席指定・税込)] S席3,500円 A席2,500円 U25 1,000円
 未就学児入場不可/無料託児あり(7/21までに要事前申込)

新日本フィルハーモニー交響楽団
 首席フルート奏者
 野津 雄太(島根出身)

夏休み!グラントワたんけんツアー

7/19(金) 9:00~ 受付開始

2024年
8月3日(土)
 ①10:00~12:00 低学年向けツアー
 ②18:00~19:30 ナイトツアー

8月4日(日)
 ③10:00~12:00 高学年向けツアー

【参加料】500円
 【対象】
 ①低学年向け 4歳~小学3年生
 ②ナイトツアー 小学1~6年生
 ③高学年向け 小学4~6年生
 ※保護者の方もご参加いただけます

★詳細はグラントワホームページをご覧ください。

劇団四季
 写真はこれまでの公演より
 撮影:山之上雅信

キリスト最後の7日間に迫る衝撃のロック・オペラ

JESUS CHRIST SUPERSTAR

ジーザス・クライスト=スーパースター
 [エルサレム・バージョン]

チケット発売中

2024年8月22日(木)
 開場17:45/開演18:30
 グラントワ大ホール

入場料 [全席指定・税込]
 前売 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円
 ※未就学児入場不可 ※無料託児あり(8/15までに要事前申込)

伝統と革新—
 進化を続ける大西順子カルテットが
 グラントワ初登場!

チケット発売中

JUNKO ONISHI QUARTET
 Supported by Blue Note Tokyo

2024.9.28(土)
 開場14:15/開演15:00
 グラントワ大ホール

大西順子/p
 井上陽介/b
 吉良創太/ds
 大儀見元/per

[入場料(全席指定・税込)] 一般前売4,500円/当日5,000円 ※
 18歳以下無料/同伴保護者半額(2,250円)
 ※上限、条件あり 詳細はグラントワホームページをご覧ください。
 未就学児入場不可/無料託児あり(9/21までに要事前申込)

総合案内カウンター営業日についてのお知らせ

7月1日(月)より、毎週火曜日は
総合案内カウンターが休業となります。

美術館観覧券、劇場チケットのご購入は、便利な
 「シマチケ(WEBチケット販売)」をご利用ください。

吉賀町公式LINEアカウント



吉賀町ホームページアドレス
 https://www.town.yoshika.lg.jp
 吉賀町メールアドレス
 info@km.town.yoshika.lg.jp

編集・発行 吉賀町役場企画課
 〒699-5513
 島根県鹿足郡吉賀町六日市750番地
 電話 0856-77-1437 FAX0856-77-1891